



# デジタルバイオヘルス分科会

- リーダー機関 : 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
- 代表者名 : 理事長 大津 欣也
- リーダー名 : 理事・研究所長(共創の場PL) 望月 直樹  
産学連携本部長 (共創の場副PL) 浅野滋啓

# 1. デジタルバイオヘルス構想

## グローバルバイオコミュニティ・地域バイオコミュニティの形成

**グローバルバイオコミュニティ**  
2地域程度  
(東京圏・関西圏が候補)

世界最先端の研究開発機関が中核となり、バイオ生産システム等の開発機能を有する機関や企業等の連携により、シーズを円滑に事業化。世界からバイオイノベーションハブの一つとして認知

プレイヤーの連携を促進するとともに、内外の認知度を高め、投資を呼び込むことが重要

**地域バイオコミュニティ**  
数都市程度

地元企業・農業者等と地方大学等研究開発機関の協業によりバイオ戦略の市場領域が拡大、世界市場進出、雇用創出等により地域経済が活性化

地域の特色を活かした取組実施により、市場領域を拡大、実績を上げていくことが重要

### ネットワーク機関によるコミュニティのメンバーの評価、段階的な成長支援

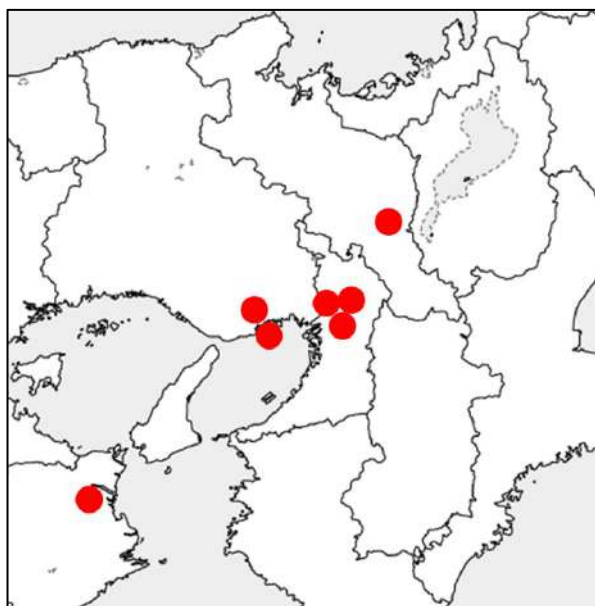
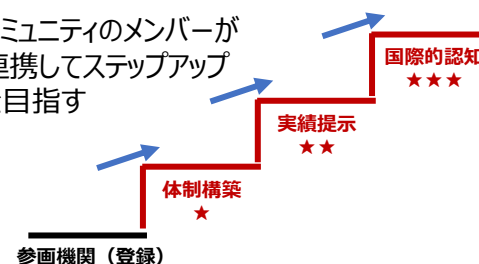
ネットワーク機関※

メンバーを評価  
政府のガイドライン + 自ら設定した要件

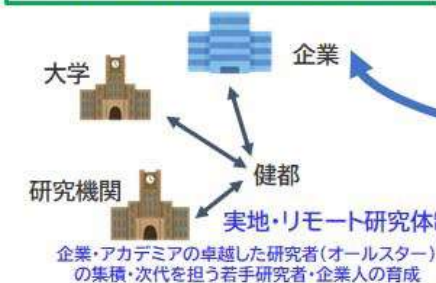
市場領域ロードマップの取組への参画状況  
オープンイノベーション  
ESG等の観点で評価



コミュニティのメンバーが連携してステップアップを目指す



○疾患研究・プラットフォーム構築○  
■ 国立循環器病研究センター オールスター研究センター



○ネットワーク構築○  
■ 徳島大学 次世代バイオネットワーク

「共創の場」研究成果の社会実装



■ 神戸大学 バイオ研究

○デジタルヘルスケア○  
■ 医薬基盤・健康・栄養研究 AI健康・医薬研究センター

住民のヘルスケアへの参加 (健康情報) (吹田市・摂津市)







# 1. デジタルバイオヘルス構想

## ● 4大疾患克服・共生社会

- 難治性心血管疾患
- 難治性がん
- 認知症
- 新興・再興ウイルス感染症

- 4大疾患に伴う感覚機能障害
- デジタルヘルスケア制度構築



国立循環器病研究センターが中核となり、2030年までに吹田市・摂津市において、ICT技術を活用し、生涯にわたる健康・医療情報等に基づき個別化・最適化された健康づくりや医療が、まちぐるみで実践できることを目指す

大規模マンション

高齢者ウェルネス住宅



健康・医療データの一元管理

健康・医療データプラットフォーム

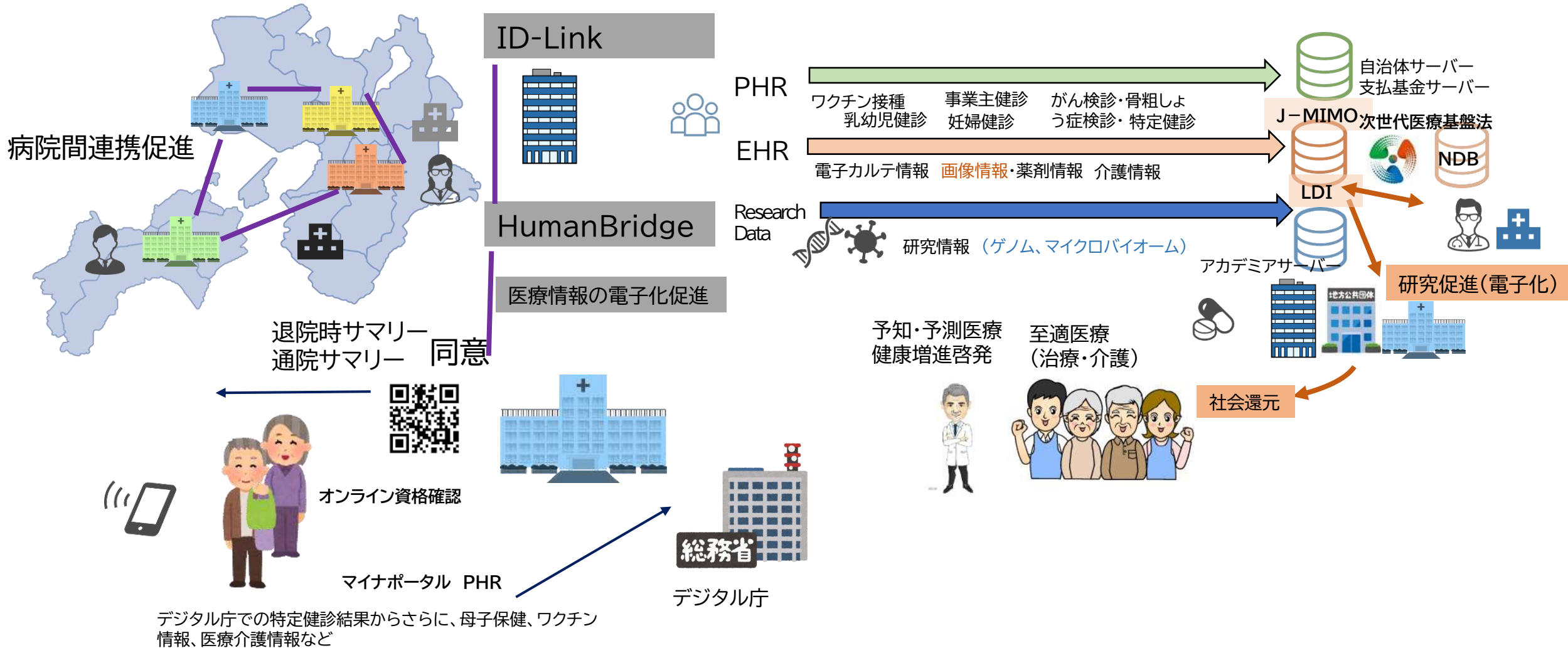
予測モデルを用いた最善のヘルスケア・医療の提供



# 市民のための健康・医療・研究データの管理と還元・2次利用促進



## 医療データ共有システムと患者住民自身の意識改革





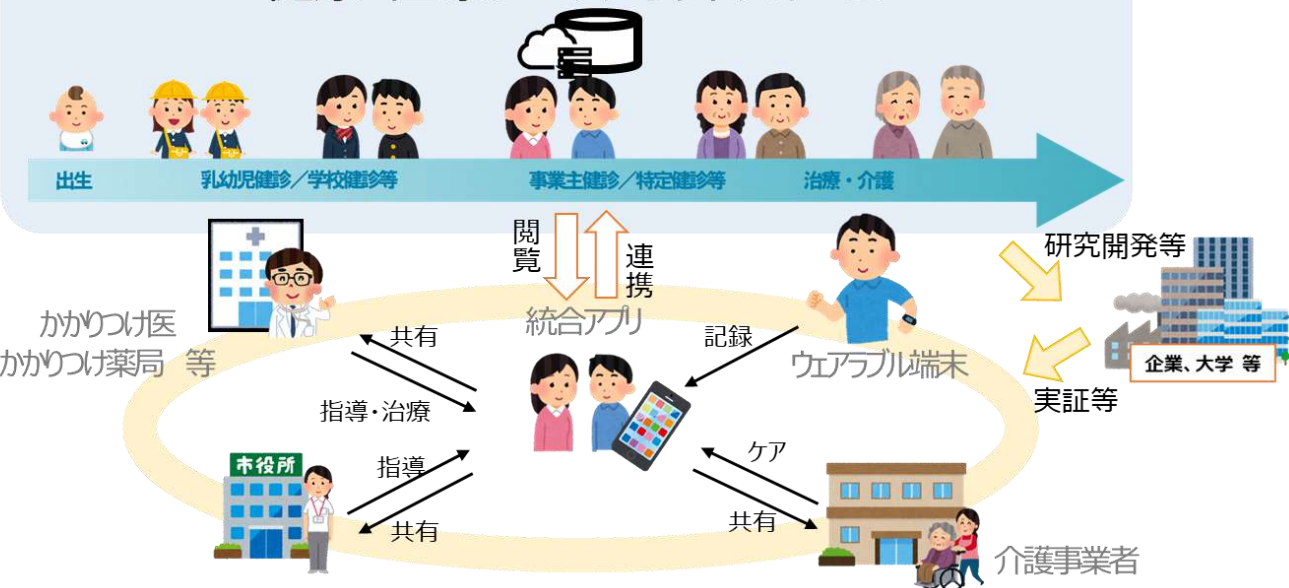
# 2次利用による社会還元を目指した分科会の連携



- シームレス（生涯にわたり永続的）・ボーダレス（居住地を問わず）に健康・医療情報を集約・データベース化し、利活用を図ると共に、まちぐるみで市民の行動変容を促す。

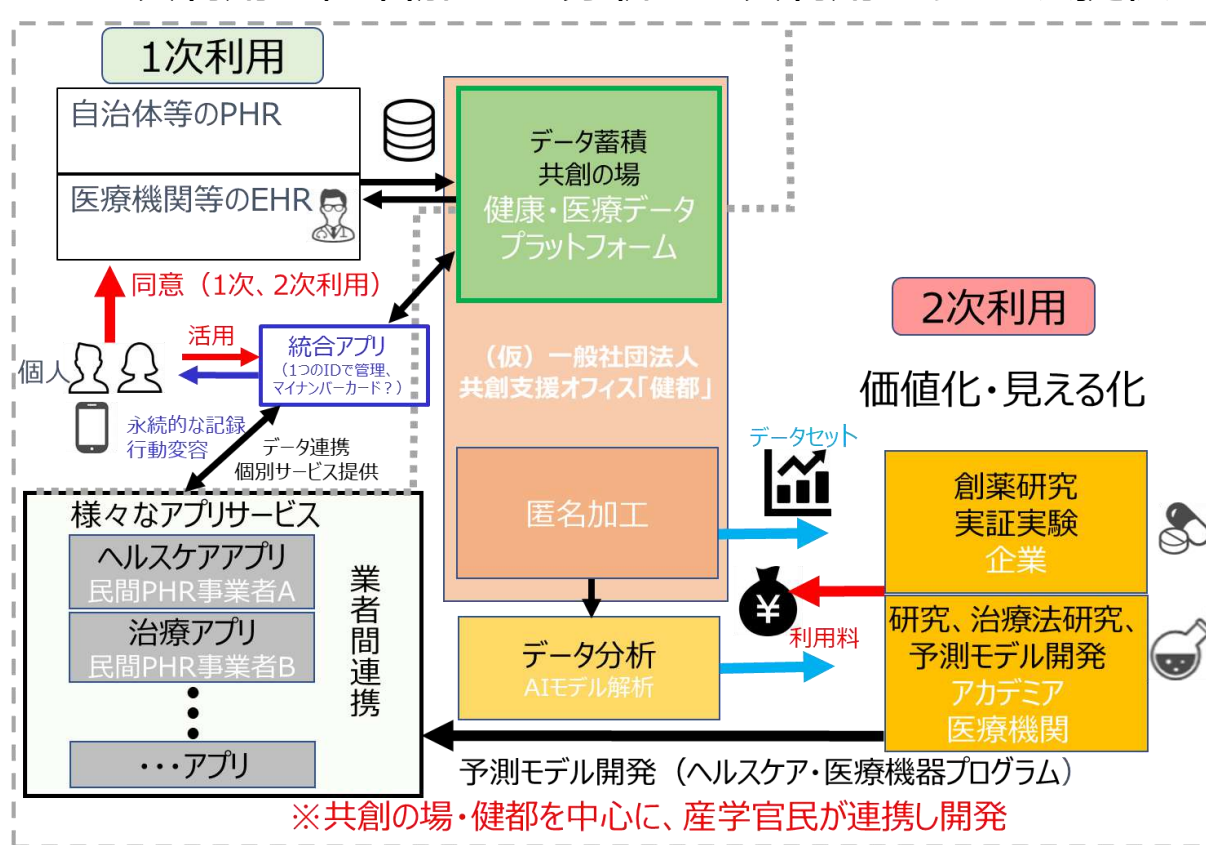


## 健康・医療データプラットフォーム



- 【連携体制】
- ビッグデータヘルスケア分科会
  - パーソナルデータ分科会

## 1次利用～匿名加工～分析～2次利用～サービス提供



- 【連携体制】
- 医薬基盤・健康・栄養研究所、吹田市、摂津市、興和、日本セルフケア推進協議会、阪急阪神ホールディングス、シミックホールディングス